

テーマ：観光（実践校）

渡島管内 知内町立知内小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・第4学年の総合的な学習の時間において、ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、地域の様子を見学したり、地域の方から伺ったりしたことを、姉妹都市の学校と交流するとともに、知内町の米づくりを劇にして表現する活動を通して、地域の魅力について考えを深める探究的な学習活動を展開しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

前年度の学習を踏まえ、自分たちの地域の魅力を考え、他の学年及び地域の人たちにその魅力を発信するために、「いっぱい伝えよう！知内のいいところ」という探究的な課題を設定しました。

(2) 情報の収集

町内見学や町役場の観光課からの資料提供、Web会議システムを活用した町内の農家の方にインタビューする活動を通して、情報収集するとともに、地域の魅力を再発見しました。

(3) 整理・分析

収集した情報を基にして、知内町の友好都市と交流するために、プレゼンテーションソフトを使って知内町の魅力を紹介する資料を作成しました。

また、農家の方から伺った話を基にして、「ふっくりんこ誕生秘話」を伝える劇を創作しました。

(4) まとめ・表現

友好都市である青森県の小学校とWeb会議システムを活用した町の魅力を伝え合う活動を行い、互いの町の魅力について考えを深めることができました。

また、「ふっくりんこ誕生秘話」を伝える劇を学習発表会で披露したことにより、米農家の方の悩みやこれからの願いについて考え、発信することができました。



【農家の方へのインタビューの様子】



【劇の様子】

②児童の感想等

- ・町の施設やお店、漁業、農業の様子や町の名産など、いろいろなことを青森県の小学校の人たちに伝えられたので、よかったです。
- ・昔のお米と今のお米は、おいしさに違いがあるということが、劇を見た人に伝わったと思うので、よかったです。みんな大切に食べてくれると思います。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 町内見学や町役場の観光課からの資料収集、Web会議システムを活用した町内の農家の方にインタビューする活動を実施したり、友好都市との交流活動を行ったりしたことにより、観光に関する児童アンケートで、「知内町の歴史や自然について関心がある。」と回答した児童の割合が、93%から100%に増加するなど、自分たちが住んでいる地域への関心を高め、地域の魅力を再発見するとともに、郷土に対する愛着や誇りを育むことができました。
- 児童が試行錯誤しながら、思いや願いを表現する活動に時間がかかったため、教科等横断的な視点で教育課程を見直すとともに、活動内容の精選を図る必要があります。